

子どもの日の由来



こどもの日は最初はお隣の中国で、5月5日に病気や悪い事が起こらないようにお祈りする“厄払い”という行事から始まりました。

それが日本に伝わってきたのですが、お侍さんの時代になってお侍さん(武士)になる男の子に悪い事が起こらないように、そして強たくましく成長してほしいという気持ちを含めてお祈りする日になっていきました。

それからもっと時間が経って、今では男の子や女の子というものも関係なく子供全員が元気に幸せに育ててほしいという願いを含めて、「こどもの日」となったそうです。



菖蒲湯(しょうぶゆ)にはなぜ入る？

昔中国の厄払い行事だった頃に、とてもよい香りのする菖蒲で悪い気や悪魔を払っていたので、

それがお侍さんの時代では、菖蒲(勝負)に勝つという意味で使われるようになって、

今ではその二つの名残から菖蒲湯としてお湯に浸かるようになっていったそうです。

